

エペソ人への手紙 第3章 18～19節

「すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるのかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。」

獄中にありながら神に満ちる祈りをします。その様子が三次元を越える体験で示唆されます。人知をはるかに越えて神体験です。この体験を聖徒とともに、とあります。一つの共同体の中に位置して、とあります。その中に立って、ともにとあります。投獄された単独者が教会を思い、共同体の大切さを、ともに、と言葉を添えます。

ヨーロッパの教会堂では古くから継承されているステンドグラスを多く見ることができます。外から見ても美しいですが、本当の美は、会堂の中に入ったときにわかります。陽光がステンドグラスを通し射しこむ様子は息をのむような輝きをもたらします。会堂の中に入らなければ本当の美しさ、そのときの輝きには出会えません。

投獄された者はわかっていました。キリストの愛、神に満たされるのは、外に立っていてもわからないのです。聖徒とともに立つ、教会の中での体験からわかります。